



戦後70年

永久平和を願って
次世代に戦争体験を語り継ぎたい

私の戦争体験談②

秘書広報課 ☎24-8801

「戦争はすべてを無にする」 少年時代の戦争体験」

飯山町 小林 文雄さん

私は1935年（昭和10年12月）、飯山町東坂元（旧綾歌郡坂本村）で生まれ、今年80歳を迎えます。ときあたかも広報丸



大型爆撃機B29

鳥8月号で、平和のために語り継ぐ「戦争体験記」募集を目にし、戦争は二度と繰り返してはならない強い思いから、私の少年時代の体験を記し、戦争を知らない若い世代の方々に一つでも知っていただき、平和の大切さを共に訴え続けて行きたいと思えます。

今年が戦後70年、日本は、日本国憲法のもとで、国土再建、経済成長を成し遂げた。この間、戦争放棄を旗印とした民主平和国家であることを世界各国から認められ今日にいたっている。このところ、近隣国間の緊迫する諸情勢から、政府は新しく「安全保障関連法案」を国会に提出し、審議、賛否両論の激論中である。去る8月30日に

戦に至った。戦中、国民は現在のように世界の情報を知り得るような報道やネットは無くまた許されなかった。私たちは米、英国はどのような国であるか、教わることも無く、ただ敵国鬼畜米英と……一億一心（国家の団結）で必勝すること

を心に植え付けられた。日本は神国、天皇陛下は神様として崇め、「朕（天皇陛下）の命令は神の命令」だ……と教育された。軍隊では、上官の命令は「朕」の命令として絶対服従し、国家統治がはかられた。

平和は人々の 心と力で生まれる。

戦争は人々の命を奪い、敵対する国を滅ぼすことで何一つ益することはない。現に地球上の各地で頻発している争いを、テレビ報道などで目にしますが、科学兵器を駆使し全てを壊滅する様相は、想像を絶するもので



戦争はすべてを無にする—原子爆弾—

戦後70周年 平和のために語り継ぐ 「戦争体験記」 などを募集します

秘書広報課 ☎24-8801



戦後70年の節目の年にあわせて、二度と戦争を繰り返さないために、広報丸亀で「戦争体験記」を募集しました。お寄せいただいた体験談を掲載した11月号をご覧になった皆さんから、寄稿や問い合わせを多くいただいています。

秘書広報課では、戦争を知らない世代に貴重な体験を語り継ぐため、引き続き体験記などを募集します。

内容

戦争体験や戦争中の生活を伝える体験談400字～最大2000字（原稿用紙1～5枚）・資料など（使用後返却）

応募方法など

住所、氏名、年齢、電話番号を記入して郵送か持参またはEメールで秘書広報課まで。順次広報丸亀などで紹介させていただきます。

送付・問い合わせ

〒763-8501 大手町二丁目3番1号
秘書広報課 ☎24-8801
hishokoho-k@city.marugame.lg.jp



は、同法案に反対する国民運動が全国で起こされ、東京では国会議事堂を囲み、大規模なデモ行進が展開されるなど、将来の平和国日本の在り方に国民の関心が一層高まっている。昨今である。

高松空襲と避難訓練

1944～45年（昭和19～20年）の終戦に至るまで、東京空襲を始め次々と大都市が戦火で焼失した。1945年（昭和20年）7月4日には、高松が空襲を受け、1359人が、命を奪われ、8万6400人が被災した。その時の記憶は鮮明に残



生活のすべてが戦争一色

飯野山スレスレに西から、大型爆撃機B29が100機余り、もの凄く爆音を残しながら高松に向かった。809トンもの焼夷弾の火の雨で東の空は真っ赤に染まり、城山の姿が浮き絵のようだった。田植えを終えた水田には、防信用の鈴の長い長いテープが多く落とされていた。当時は連日といっても過言ではない空襲警報が発令され、艦載機グラマンの飛来があった。また、1万メートル上空をB29が白い飛行雲を残しながら悠々と飛び去る状態に唾然として空を見上げるだけだった。

学校においては、校庭にツボ穴を掘って逃げ込む訓練や、校舎のなかでは、机の下に身を伏せて、両手を両目、両耳に押し当て身体の防護訓練に励んだ。校舎の窓ガラスは爆撃で飛び散らないよう新聞紙を細く切り張るなど防備していた。

洗脳教育の怖さ

世界には今でも、言論を封じ、自由を許さない独裁国が存在する。かつて日本でも、軍部主導となり、自由主義大国と戦い敗

ある。70年前、日本は広島、長崎に原爆を投下され、空襲により、東京をはじめ大都市は殆んど焼失した。同じく高松も戦火に遭い多くの人々の命を失い大なる被災を受けたことを後世に伝える継がなくてはならない。

今、日本国民は文化、芸術、スポーツなどを通して、よろこび楽しみ、文化生活を送れる幸せ、そして、平和の現実に共感を覚えます。

2020年（平成32年）は、平和の祭典「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されるが、全世界の国々が参加され、平和のよろこびを味わいたい。戦後70年の節目として、恒久平



全国の主要都市が焼け野原に